

再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム
(幹細胞・再生医学イノベーション創出プログラム)
研究開発課題評価(令和6年度実施)
事後評価結果報告書

| | |
|----------|--|
| 研究開発課題名 | ART(生殖補助医療)における胚着床率の劇的向上に向けた多階層幹細胞・着床ニッチ構築を目指すヒト胚発生オルガノイドモデル作製 |
| 代表機関名 | 東北大学 |
| 研究開発代表者名 | 柴田 峻 |

【評価コメント】

研究計画の主たる目標をほぼすべて達成し、独創性の高い研究成果を創出したと高く評価できる。細胞組成と空間的配置がヒトに類似した革新的なヒト子宮内膜オルガノイドの確立に成功したこと、および独自の培養法によりヒト胚の着床を *in vitro* で再現する胚-子宮内膜アセンブロイドの作製に成功したことも評価できる。国際論文や知財出願も着実に進められている。今後、単一細胞レベルでの遺伝子発現解析や形態学的なデータ取得、分子レベルでの当該着床モデルの特徴づけなどのさらなる研究の進展が期待される。